

2020,11,30

信長の朽木越えの準備に行きました (里山整備)

三ツ石から信長の隠れ岩から西山城跡、そして住宅地までの倒木処理や道・階段づくりなどしました。みなさまのご参加をお待ちしています。

◆歴史

信長の隠れ岩 朽木三ツ石 追われる身、岩窟にひそむ。

戦国武将・織田信長は元亀元年（1570）4月、越前の朝倉義隆を討伐するために敦賀へ侵攻していましたが、妹婿であった浅井長政が裏切ったとの情報を得て急ぎ、撤退を決意。同月30日に京都へ引き返します。その退路として通ったのが今津町俣坂から大津市菟川へ抜ける裏ルート「朽木越え」でした。

信長が来ることを知った当地の領主・朽木元綱は、甲冑姿で出迎ようとした。この衣装姿に驚いた信長は、同行の松永久秀と森三左衛門（即成）に元綱の真意を確かめに行かせます。そして元綱に敵意がないことを確認できるまで、ここ三ツ石の岩窟に身をひそめて待機したと伝えられています。

平服に着替えた元綱は、信長を下市場の蘆刈堂でもてなした後、朽木頼に宿泊させ、翌日京都までの警護役も務めました。（蘆刈堂跡はここから南へ約1キロの下市場の集落内にあります。）

～朽木・頼・ひとネットワーク 朽木地坂まちづくり委員会～



◆整備の様子

